

一般社団法人日本書字文化協会機関紙



No. 21

2014 年 8 月号
 一般社団法人日本書字文化協会
 代表理事・会長：大平 恵理
 編集長：佐藤 貴子
 〒164-0001
 東京都中野区中野 2-13-26
 第一岡ビル 3 階
 TEL 03-6304-8212
 info@syobunkyo.org

《目次》

- ◇ 第 1 回臨書展実施要項・・・・・・・・・・ 2・3
- ◇ 新検定テキスト販売・・・・・・・・・・ 4・5・6
- ◇ えんぴつ指導者ライセンス講習会開催日程・・・・ 8

第3回書写書道総合大会

締め切りまで一ヶ月余

第3回全国書写書道総合大会（書文協、文字・活字文化推進機構共催、文部科学省など後援）は「ひらがな。かきかたコンクール」が7月末に締め切られ、毛筆の実力を競う「学生書写書道展」硬筆の大規模「全国硬筆コンクール」は9月15日の締め切りが迫りました。書写書道教育界最高の権威を誇る中央審査委員会の審査に委ねられます。夏休み、頑張ってみましょう。

（8面に関連記事）

臨書展「漢詩・楓橋夜泊」

青梅日本寒山寺舞台に

書文協は、漢詩・楓橋夜泊を臨書するコンクールを10月31日応募締め切りで開きます。臨書は書写書道の基本。また、同文の国を理解するきっかけになるでしょう。

（実施要項は2面）

日本寒山寺は蘇州・寒山寺の要請を受けて、地元の篤志家らが建立した、知られざる日中友好の地。無住寺ですが「月落ち 烏啼き」の碑も同じものが両寺にあります。

後援多彩 蘇州・寒山寺も

青梅市日本中国友好協会、中国書法学院のほか中国側からは日本でも有名な禅寺、蘇州・寒山寺、難関の総合大学・中国国立南京芸術学院、書道愛好家に知られる蘇州呉硝石研究会が名を連ねました。



大平 恵理

大会参加者に広く学びを伝える目的の錬成会。宇都宮から福岡まで5会場全てが終了しました▼強調したのは「評価の観点」。 「筆・えんぴつの持ち方や姿勢（腰骨）、筆圧」。 学びが進むほど立ち返る基礎基本です▼書写書道の手触りの魅力。それを伝える意義を今年も実感しました。

（書文協会長）

第1回漢詩「楓橋夜泊」臨書展実施要項

多摩川上流・青梅市沢井、鵜の瀬溪谷に建つ日本寒山寺の漢詩「ふうきょうやはく楓橋夜泊」を碑文のまま臨書、あるいはその数文字を楷書で書く大会を開催します。碑文は、本家の中国・江蘇省の寒山寺にあるものと同じです。臨書は書を学ぶ人の基本。その上で、教育漢字で育つ小学生に向けて数文字を書文協会長・大平恵理が揮毫します。書の学びの弾みとして、また、漢字を通じて同文の隣国、中国への理解を深めるきっかけになれば幸いです。

拓本（たくほん）を取ってみませんか？

参加者のうち、10人（上位入賞者希望順）に限り、11月30日（日）に、日本寒山寺の碑文から拓本を取る見学会を開きます。

主催 一般社団法人日本書字文化協会
後援 青梅市（東京）日本中国友好協会
 中国書法学院

蘇州・寒山寺
 中国国立南京芸術学院
 蘇州呉昌碩研究会

作品募集期間 平成26年9月1日～10月31日
 応募資格 幼児～一般
 部門

手本	課題	用紙	文字数	部門
手本は8月初旬、書文協ホームページにて発表。 *臨書の部は拓本 *楷書書写の部は大平恵理揮毫の参考手本 *希望者には送付予定（拓本は縮小したもの）	「楓橋夜泊」参考 字体は変わります 月落烏啼霜滿天 江楓漁火對（對）愁眠 姑蘇城外寒山寺 夜半鐘聲（声）到客船 唐代の詩人張繼作「楓橋夜泊」 寒山寺碑文 書は清末の俞樾	半切または八ツ切	漢詩全文 起承転結4句のうち1句	臨書の部
	外 城 火 漁 天 滿 月 （この中から1文字）	半紙または八ツ切	1字	楷書書写の部
	漁火	2字		
	寒山寺	3字		

出品料

出品点数が5点以上の場合、合計金額より、作品整理・送付代等として20%割引をいたします。賞状賞品等は代表者に送付いたします。

出品料 (1点につき)		
高校生以上	中学生	幼児
1,000円	700円	臨書の部
700円	500円	楷書書写の部

出品の仕方

- ① 作品に出品票をクリップでとめる
- ② 総括表を添付

※ ①②は書文協ホームページからダウンロードまたは、書文協にご請求下さい。

- ③ 複数出品可

作品送付先

一般社団法人 日本書字文化協会
臨書展係

〒164-0001

東京都中野区中野2-13-26

第一岡ビル3階

金融機関名 ゆうちよ銀行

口座名義

一般社団法人 日本書字文化協会

口座番号

001301728113

審査

賞

書文協中央審査委員会
大賞（臨書の部から）、中央審査委員会賞、
青梅市日本中国友好協会会長賞、日本書
字文化協会会長賞ほか

審査結果

全員に賞状をお渡しします。
書文協機関紙11月号、ホームページで
発表。園・学校在籍者の上位入賞者は11
月、園・学校にお知らせし顕彰をお願い
します。

展示（優秀作品）

11月26日～30日

澤乃井ガーデンギャラリー

（〒198-0172 東京都青梅市

沢井2-770）



「楓橋夜泊」拓本



日本寒山寺

新検定テキストを販売

ホームページ

陳列棚



書文協ホームページ (<http://bunkyo.org>) に設けた書文協関連教具、教材の陳列棚では当面、新検定テキスト各巻を詳しく紹介していきます。割引が適用される会員の申し込み欄もございます。ぜひ、ご覧ください。

言葉の力も養う

平成26年8月現在、本シリーズ第1～4巻まで販売されています。8月末に幼児編上下2冊、9月までに本シリーズ第7巻まで、平成27年3月までに15巻まで販売の予定です。

各巻共通

定価 648円（本体600円）

本文 64ページ

著者 大平 恵理

発行 日本書字文化協会出版部



えんぴつ・ペン文字練習帳共通事項

（指導要領準拠）各巻とも標準学年制です。1巻は小学1年生標準対応。ルビなしで使う漢字は小学校1年生までです。学習指導要領の学年に対応しています。大人も1巻からの学習をお勧めします。

（用紙）清書スペースは課題によって異なります。1、2巻は6マス3行。3、4巻は7マス5行。練習帳のスペースも同様になっています。検定受検、大会出品共通で使える硬筆共通清書用紙は1枚10円で発売しています。

（3部構成）各巻とも3部構成。1部は書写の基礎知識。第2部は検定課題編で各巻8課題ずつ、このほか長文の特別課題が収録されています。1課題当たり4ページ構成で、練習法は課題文をなぞり書き、白いマスへの練習スペースなどが続きます。第3部は教育漢字各学年配当漢字が掲載され、筆順、音訓の読み方が示され十字マス、白マスで練習できます。

（評価の観点）作品がどう評価されるかをポイント指導した「評価の観点」が記されています。①止め、はね、はらい②むすび③つき方④長さ⑤むき⑥曲がり⑦あき⑧横線、などの項目が続きます。各課題で出てくるひらがなが題材です。

（言語活動）指導要領が掲げる各学年言語活動例に沿って課題文が配列されています。主語述語関係など文法の他、古典や文語調作品なども順次登場します。

練習帳第4巻

表紙の色が3巻までの黄色からピンクに変わります。1部で「手書き文字と活字」が取り上げられ、筆圧についても触れています。検定課題はN025〜32番。「評価の観点」は28番課題「ひさかたの 光のどけき 春の日に 静心なく 花の散るらん」について「外形」が指導されます。光は正方形、んは三角形などの指摘です。「春はあけぼの」が登場。調べ学習を取り上げた課題文が登場。言語活動例が説明されます。配当漢字小学4年生は200文字。

幼児編上下は8月発売予定

たて、よこ、ななめ まあるく わんごん



えんぴつの持ち方、線を引く練習から始める幼児編は、幼稚園、保育所の就学前の子どもたちが対象です。単なる早期教育を目指すのではなく、きれいで正確な文字を書く基本、言葉の力を養う基礎を作ります。挿絵は大坪さん。楽しい絵を見たり、塗ったりしながら学びを進めます。



津梁（しんりょう）

水（川、瀧・・・）が好きである。時に川へ車を走らせる。ほーっと見ているだけで何もかも洗い流してくれる。水を眺めているのは、私の一

つの洗濯法。硯を洗い、気持ち新たに書に向かう、という意味の「洗硯」という言葉も気に入っている。書にも心にも「水」は欠かせないもの。生命の源であり、全世界に繋がっている。

私の好きな多摩川上流の渓谷にも、知られざる国際交流の地がある。隣国中国江蘇省蘇州市にある寒山寺より、「本尊が贈られ「楓橋夜泊」の石碑、鐘とともに建つ日本寒山寺（東京都青梅市沢井）である。緑あふれる渓谷を流れる清流の面に、鐘の音が心地よく響き渡る。

そんな寒山寺へ誘うのが「楓橋」。途中の景色もまた絶景。「書を通して架け橋をつくる。」そう、世代も国も言葉も超えて様々な繋がりをつくろう。30数年来、書に親しむ者として海外交流を重ねてきた。その想いから物事の橋渡しとなるものを指す「津梁（しんりょう）」をよく使って日々まい進していきたい。

渡邊 啓子（書文協副会長）



通信こだま「教学半」

実力アップの夏

暑い夏がやってきて、大会のシーズン

が来ました、この時こそ実力のアップのチャンスです。普段は、この書文協の検



定課題を始めた時期の違いで、人によっては学年相当の課題より進んでいたり、遅れていたりすると思いますが、それはその人のペースでしっかり基本から身に付けていくのにとっても良いことです。

大会の課題は、書文協の「ことば委員会」が学年相当にふさわしい、文字、課題の意味をその時々々の世相も踏まえて作成しています。ですから、大会に挑戦することは、文字の向上プラスことばの力も養ってくれることでしょう。

面倒がらずに、一般の方も含め一人でも多くの方の大会挑戦をお待ちしております。なお、今年は学生展席書きの個人参加も認められました。これは、通信生の方には朗報です。毛筆のコースを受講されていない方でも参加できますので、ぜひこの機会に席書きの緊張感を味わってみませんか。

この夏、書写のランクアップを目指してみましよう。

池田 圭子（書文協教学参与）

教学半とは、学んで初めて足らざるを、教えて初めて到らざるを、知るとの意味です。

検定ページコラム「文鎮」

文鎮は地味ですが、なくてはならないお道具です。でも、文鎮ほど重さが気になる物はありません。

重すぎず、軽すぎず：子どもたちの程よい指導者になれば、と願っています。硬筆でも毛筆でも、ちよつと軽く押してあげる、そんなつもりで現場からのワンポイントアドバイスを書いています。

支度と始末

代々木のオリンピックセンターでの2日間の錬成会、それに続く書写書道専修学中野本部教室での5日間の特訓と夏の集中講座が続いています。大事なものは、お道具の支度と始末ですね。

練習が終われば、お道具を大切にしましましょう。そしてまたきれいに洗い、次の支度をします。

めぐっている動作ですが、お道具箱に感謝し、そして次への練習に向けて、自分自身の気持ちを準備する時間です。

皆さん、どんな支度と始末をしていますか？今一度見直してみましよう。

佐藤 貴子（教学主任兼事務局長）

えんぴつ指導者ライセンス講習会

各地開催のお知らせ

この講習会は、5時間の講習を受け、終了試験（1時間）にパスすれば「えんぴつ指導者ライセンス（資格）」が付与されるものです。ライセンスは、ひらがなについて他人に教える能力があることを書文協が保証するものです。小学校低学年や幼稚園・保育園など幼児教育指導者や、公民館などで書道サークルでの講師を考えておられる方などに最適です。

申し込み用紙などは、書文協ホームページにございます。表の左側、「各種用紙ダウンロード」から入って、パスワードのない方は「個人の方はこちらから」から入って、終わりのほう「講習会・錬成会」の欄から印刷してください

書文協の学びは多彩です。この講習会を受けた後、どのように学べばいいのか、というお問い合わせを多くいただいています。時間に余裕があり、お近くに連係書塾がある場合はご紹介いたします。通信教育で検定試験などの自学システムもございます。通うことが可能なら、東京都中野区、青梅市に書道専修学院教室もございます。また、文章表現講座（作文教室）につきましては、遠隔地のための添削コースもございます。中野本部にお問い合わせください。電話番号などは1面題字の下にあります。

開催日程

地域	月日	場所
東京	8月19日（火）	中野・ゼロホール
東京	8月30日（土）	代々木・オリセン
大阪	8月23日（土）	大阪市立東淀川区民会館
名古屋	9月6日（土）	名古屋市立南区生涯学習センター
浜松	9月13日（土）	クリエート浜松
福岡	10月4日（土）	さざんぴあ博多（予定）

（開始時間は9時45分から10時の間です。地域によって異なります。）

総合大会錬成会 全日程を終了

大会課題についての「評価の観点」を解説する錬成会が

第3回総合大会について、

東京、大阪など全国5会場での日程を終了しました。11月頃からは第3回伝統文化大会の錬成会が開かれます。（写真は7月27日、東京錬成会、オリセンにて）

